

Akashi College		Year	2020	Course Title	C o + w o r k Ⅲ A
Course Information					
Course Code	0072		Course Category	Specialized / Compulsory	
Class Format	Seminar		Credits	School Credit: 1	
Department	Architecture		Student Grade	4th	
Term	First Semester		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	各チームの活動の内容に応じて適宜使用する。				
Instructor	All faculty				
Course Objectives					
自律に関する到達目標：自己調整ができる。 協働に関する到達目標：他者を尊重しながらチームで作業ができる。 創造に関する到達目標：発見を促進し、新しい提案ができる。					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
自律に関する到達目標	タイムマネジメントや必要に応じた報告・連絡・相談ができ、目標を立て振り返ることができる。これらを自分なりの判断と工夫を加え最善と思う行動をとる。		タイムマネジメントや必要に応じた報告・連絡・相談ができ、目標を立て振り返ることができる。これらのことをやるべき時に行う。		タイムマネジメントや必要に応じた報告・連絡・相談、目標を立て振り返ることの行動が伴わない。
協働に関する到達目標	他者の意見をしっかりと聞き、他者を受け入れつつ自己表現ができる。また、協働作業に貢献することができる。これらを自分なりの判断と工夫を加え最善と思う行動をとる。		他者の意見をしっかりと聞き、他者を受け入れつつ自己表現ができる。また、協働作業に貢献することができる。これらのことをやるべき時に行う。		他者の意見をしっかりと聞くこと、他者を受け入れつつ自己表現を行う行動が伴わない。また、協働作業に貢献する行動が伴わない。
創造に関する到達目標	情報の収集・意味づけができ、モノ・サービスの制約条件（提案が影響を及ぼす範囲や条件）を特定できる。また、新しいモノ・サービスを提案できる。これらを自分なりの判断と工夫を加え最善と思う行動をとる。		情報の収集・意味づけができ、モノ・サービスの制約条件（提案が影響を及ぼす範囲や条件）を特定できる。また、新しいモノ・サービスを提案できる。これらのことをやるべき時に行う。		情報の収集・意味づけを行うことや、モノ・サービスの制約条件（提案が影響を及ぼす範囲や条件）を特定する行動が伴わない。また、新しいモノ・サービスを提案する行動が伴わない。
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (H)					
Teaching Method					
Outline	自律、協働、創造の能力を養成することを目的とし、多様な環境（他学科・他学年の学生との交わり、学外の人々との交わりなど）の中で、チームにどんな貢献ができるかを考えて自律的に役割を果たし、メンバーと協働し、チームワークを発揮して、創造性が養われる学習活動を行う。活動テーマについては、SDGsの17の課題中の1つについて、問題解決のための提案、プロトタイプ作成等を行う。活動計画書を作成の上、活動を行う。毎週のふりかえりにより、活動計画の修正を行いながら、活動を進める。第13週に前期末報告会を行い、チームの活動について、プレゼンテーションを行う。				
Style	2、3、4年生、4学科の学生を無作為に選んで構成された数名で1チームを編成し、1人の教員が2チームを担当する。チーム内で自己紹介、アイスブレイクを通じてチーム内の人間関係を構築する。そのうち、SDGsの17のテーマ中の1つについて、課題とその細分化項目の調査や把握、それらの理解を経て、問題解決のための提案、プロトタイプ作成等をチームで行う。活動においては、計画、役割分担、実践を伴った学習活動を行う。取り組み課題を通じて自律、協働、創造にかかる力を身に付け、これらの能力を養うという目標を達成するために、授業に積極的に関わることが必要である。授業開始後は、チームの担当教員との連絡が取れるよう確認すること。自己目標を立てるにあたっては、授業で配布されるルーブリックを参照すること。また、ルーブリックは、自己評価や相互評価に加え、本科目の成績評価にも用いる。毎週、授業の終わりにはふりかえりを行うためのふりかえりシートに記入し、次の目標を立てる。				
Notice	(1) 個人の取り組み 80% (自律 (40%) + 協働 (40%) + 創造 (20%)) (2) チームの取り組みと成果 20% (協働 (50%) + 創造 (50%)) 上記 (1) は、ルーブリックを用いた学生の自己評価、相互評価と教員の評価をもとに、チームの担当教員が評価を行う。(2) は前期末報告会での複数の教員による評価とする。60点以上を合格とする。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	全体授業ガイダンス、チームメンバーの発表、チームビルディング 授業ガイダンスを受け、全体スケジュール、活動に関する諸注意、評価方法等を確認する。チームメンバー、チーム担当教員の発表を受けチームメンバーの顔合わせ、チームビルディングを行う。	自律、協働、創造の能力を身に付ける	
		2nd	活動目標の決定および活動内容の計画、自己目標を各自で定めて記録する。チーム活動に向け、テーマに沿ってアイデアを出し議論をする。 決定した活動目標に沿って、実施方法、役割分担、スケジュール等を決定し活動計画書にまとめる。	自律、協働、創造の能力を身に付ける	
		3rd	活動目標の決定および活動内容の計画 チーム活動の目標決定に向け、テーマに沿ってアイデアを出し議論をする。決定した活動目標に沿って、方法、役割分担、スケジュール等を決定し活動計画書にまとめる。完成後は活動を開始する。	自律、協働、創造の能力を身に付ける	
		4th	活動目標の決定および活動内容の計画 チーム活動の目標決定に向け、テーマに沿ってアイデアを出し議論をする。決定した活動目標に沿って、方法、役割分担、スケジュール等を決定し活動計画書にまとめる。完成後は活動を開始する。	自律、協働、創造の能力を身に付ける	

		5th	活動目標の決定および活動内容の計画 チーム活動の目標決定に向け、テーマに沿ってアイデアを出し議論をする。決定した活動目標に沿って、方法、役割分担、スケジュール等を決定し活動計画書にまとめる。活動計画書を提出する。	自律、協働、創造の能力を身に付ける
		6th	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。	自律、協働、創造の能力を身に付ける
		7th	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。	自律、協働、創造の能力を身に付ける
		8th	(中間試験 実施せず)	
	2nd Quarter	9th	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。	自律、協働、創造の能力を身に付ける
		10th	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。中間報告会の準備を行う。	自律、協働、創造の能力を身に付ける
		11th	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。中間報告会の準備を行う。	自律、協働、創造の能力を身に付ける
		12th	チーム活動 活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。中間報告会の準備を行う。	自律、協働、創造の能力を身に付ける
		13th	前期末報告会 活動内容を共有するためにチームの活動について報告を行う。他のチームの報告を聞く。	自律、協働、創造の能力を身に付ける
		14th	振り返り会・これまでの活動のまとめ 前期末報告会の振り返りを行うと共にこれまでのチーム活動を省み、今後の活動計画を確認する。各自の行動を省みて、自律、協働、創造に関して目標達成した点や反省点を自己および相互に記録する。	自律、協働、創造の能力を身に付ける
		15th	振り返り会・これまでの活動のまとめ 前期末報告会の振り返りを行うと共にこれまでのチーム活動を省み、今後の活動計画を確認する。自己および相互の行動の記録をもとにチーム担当教員よりフィードバックを受ける。	自律、協働、創造の能力を身に付ける
		16th	期末試験 実施せず	

Evaluation Method and Weight (%)

	個人評価（プロセス評価）（自律）	個人評価（プロセス評価）（協働）	個人評価（プロセス評価）（創造）	チーム評価（成果物、報告会）（協働）	チーム評価（成果物、報告会）（創造）	Total
Subtotal	32	32	16	10	10	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	32	32	16	10	10	100